

県議会議員

あらい、絹世の「磯っ子」レポート

夢と
希望のある
神奈川を



<https://araikinuyo.jp/>

かながわグランドデザイン2021年度施策分への評価報告書公表。全庁コロナシフト下が特色

2012年県は、2025年を目標年次とする総合計画の基本構想「かながわグランドデザイン基本構想」とこの第1期実施計画（2013年度から3年度分）を策定しました。実施計画は第2期分（2016年度から）、第3期分（2019年度から）が策定され、各期分終了後に「点検報告書」が作成され、総合計画審議会の評価や県議会への報告を経て公表されてきました。県ではこれと別に各年度ごとの施策への評価をまとめた「評価報告書」を作成して公表してきました。2021年度施策への評価報告書は同審議会（座長・清家篤日赤社長、学識者、県会議員、公募の県民など約30人で構成）の評価を付し、7月に県議会に報告、同21日から県のホームページなどで公表されました。施策への評価はKPI（重要業績評価指標）によって行われていますが、2021年度の県の施策は新型コロナウイルス感染症拡大に対処して「全庁的にコロナシフト、体制がとられるなかで行われたことがKPIに反映していることが特色となっています。

同基本構想、第3次実施計画への点検報告書は2023年2月に同報告書案がまとめられ、同審議会での審議、県議会定例会への報告を経て3月に公表される予定ですが、これに先立ち公表された2021年度施策への評価報告書はA4判、150ページ。「健康長寿」「経済のエンジン」「安全・安心」「ひとのチカラ」「まちづくり」を柱とする重点政策、かながわグランドデザインとSDGs（国連が掲げる持続可能な開発目標）、神奈川の戦略、計画推進のための行政運営、プロジェクトの指標・KPI、プロジェクトと主要施策との関係などが盛り込まれています。同審議会などからの意見では「先端医療・技術の開発・普及推進」「防災・減災対策を気候変動の適応と関連付けて施策化していくこと」などの意見があり、「全体としてコロナ禍の影響がまだ顕著にみられる。単に事業を中止・休止・延期するのではなく、マスクを付けるなど新しい生活様式を踏まえて着実に事業を実施していくことがコロナと共存する社会に向けて必要となる」としています。

KPIが行われている23の項目の中で私が注目したのは「未病改善の取組を行っている人＝目標値80%、実績値56.9%、進捗率71.1%」「同構想推進事業所登録数＝目標値1500か所、実績値694か所、進捗率46.2%。コロナの影響で普及イベントができず」「水素ステーションの設置数＝同30、同16、同53.3%。コロナの影響で事業者が新たな投資を手控え」「地球温暖化防止活動推進員＝同270人、同202人、同74.8%」「人を呼び込む地域づくりで県や市町村の相談を経て移住した人＝同89人、同138人、同155%」です。



コレが言いたい!

かながわグランドデザインは県の基本方針であり、それを着実に実行していくものが実施計画です。2021年度の実施計画の評価によると、コロナ禍により事業を中止・休止・延期した事で151中102件と進捗率が大幅に低下しています。しかし長引くコロナ禍の中で、デジタルの活用や非接触など新しく取り組みや手段が進んだこともあり、「新しい生活様式」を取り入れながら、実施計画に創意工夫を凝らしてWithコロナに向けた社会情勢の変化に適切に対応していく必要があります。



災害対策基本法の改正により、昨年から市町村が発表する避難情報が変わりました。警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、危険な場所から必ず全員避難して下さい。

磯子あれ? これ?

浄土宗円海山 護念寺 (磯子区氷取沢町)

「峯の灸」で知られる当寺は、徳川幕府八代将軍吉宗の命により、九代将軍家重の代に建立されました。宝暦2(1752)年、浄土宗年阿弥陀寺の14世の法雲が奥の院を建立しようと領主の星合治兵衛ともひさ具久に相談して、具久が土地を寄進して奥の院が建てられました。その後、明和8(1771)年頃、法雲と具久は本堂と明王殿を建てました。そして法雲の師である浄誉を開山とし、法雲が二世となり、具久を開基として、寺の名を浄土宗円海山清浄院護念寺と名付けました。

大正6(1917)年に火事で鐘楼以外は全て焼失してしまい、現在の本堂は昭和7(1932)年に建てられました。

「峯の灸」は、文化5(1808)年に入山した萬隨の夢枕に大威徳明王が立ち、「霊灸で人々を救済せよ」とのお告げがあり、これを受けて各地へ布教巡錫に訪れ傍らで灸の施術をしたのが始まりで、江戸期の古典落語「強情灸」でも語られて来ました。

参考:磯子の史話、他 住職のはなし



活動報告

7月20日、敷田議長や超党派の県議会議員、県職員が桜木町駅にて「共に生きる社会かながわ憲章」の普及活動を行いました。県立津久井やまゆり園で発生した悲惨な事件から6年を迎えます。事件を風化させることなく、そして誰もが共に生きる社会を目指してまいります。



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 総務政策常任委員会委員
- 共生社会推進特別委員会委員
- 予算委員会委員
- 自民党県議団政務調査会会長
- かながわ自民党女性議員局長

